## 〔英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕 ⑤

741 maybe [メイビー] アクセント注意

副にぶん、もしかすると (= perhaps → 【単語帳 No. 1114】)

※「たぶん(~)ない」というときは Maybe not. と言う。

Maybe Tom won't [will not] come here.

『たぶんトムはここに来ないでしょう。』

**Maybe** some other time. 『(では)またの機会にでも。』 ※ 提案・誘いなどを断られたときに使う表現。

→ 【単語帳 No. 108 · · · some】、【No. 594 · · · other】

## finally [37/+リィ]

副 最後に、とうとう、ついに (= at last → 【単語帳 No. 310】)

派生語: final (最後の) 形容詞

Finally, ~ 『最後に~』 ※ 演説の終わりなどに使う表現。 Finally, I'd like to thank Mr. Hara once again. 『最後に、私はもう一度原先生にお礼を申し上げたい。』

We **finally** found the lost child.

『私たちはついにその迷子を見つけました。』

※ lost は lose の過去分詞。→【単語帳 No. 613… lose】 the lost child という表現には【分詞の形容詞用法】が使われている。

743 OWN [オウン]

自分自身の、独自の、特有の

~を所有する

※ have よりも法的な所有権をあらわす。

活用 : owned [オウンド]

- owned - owning

3単現形:owns [オウンズ]

派生語:owner 「オウナァ」「所有者」

my own bag 『私自身のバッグ』

※ 所有格の後ろに使うと、所有格の意味が強まる。 in one's own way 『~のやり方で、自己流で』

This is my own bike. 『これは私自身の自転車です。』 = This bike is my own. 『この自転車は私自身のものです。』

He bought this car with his own money.

『彼は彼自身のお金でこの車を買いました。』

Every country has its **own** culture.

『どの国もそれ[その国]独自の文化を持っています。』

※ every の後ろには名詞の単数形を使い、3人称単数扱いになる。 そのため、動詞が has になっていることにも注意。

→ 【単語帳 No. 193 ··· every】

Meg's father owns this car.

『メグのお父さんがこの車を所有しています。』

 $\mathop{\boxtimes}^{744}$ away [r**ウェ**イ] アクセント注意

副離れて、去って 不在で (⇔ at home)

run away 『走り去る』 far away 『遠く離れて、はるか遠くに』 right away 『すぐに』

※ このawayは「すぐに」の意味。

Go away. 『あっちへ行って。』

The park is two kilometers away from here.

『その公園はここから2キロ離れたところにあります。』

We saw a tall building far away.

『私たちははるか遠くに高い建物を見ました。』

My father is **away** today. 『私の父は今日は不在です。』

745 even [イーヴン]

~でさえ、【比較級を強調して】さらに

偶数の (⇔ odd [アッド] 「奇数の、奇妙な」) 対等の

**even** a child 『子供でさえ』 even if  $\sim$  = even though  $\sim$ 『たとえ~だとしても』 an even number 『偶数』→【No. 334】

Even a child can understand it.

『子供でさえそれを理解することができる。』

I have to go there **even** if [though] it rains.

『たとえ雨が降っても、私はそこへ行かなければならない。』

→ 【単語帳 No. 695 ··· though (= although)】

※ 《時·条件》を表す副詞節の文では、未来のことも現在形で表す。 くわしくは、かんたん英文法【接続詞】を参照のこと。

の用法の例文は省略します。

## 〔英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕 ⑤

able [エィブル]

≪be able to ~ で≫ ~できる 有能な、才能のある

be able to ~ = can ~ 『~できる』

He is **able** to speak Chinese. 『彼は中国語を話すことができる。』 = He can speak Chinese.  $\times$  am [are/is] able to  $\sim$  = can  $\sim$ 

That girl was not able to swim when she was a child.

『あの少女は(彼女が)子供のころ泳げませんでした。』

# was [were] not able to  $\sim$  = could not  $\sim \rightarrow$  [No. 606 ··· could]

※ can には未来形の用法がない。また、同じ品詞(=助動詞)である will とはいっしょには使えない。 そのため、「~できるでしょう、~できるだろう」 には will be able to ~ を使う。 ※ can → 【No. 581】 Tom will be able to swim soon. 『トムはすぐに泳ぐことができるでしょう。』

747 $\operatorname{trip}$  [トゥりップ]

(比較的短い)旅行

take [make] a trip 『旅行する』 a school [day] trip 『修学[日帰り]旅行』 Have a nice **trip**. 『良いご旅行を。』

How was your trip? 『(あなたの)旅行はどうでしたか?』

Let's <u>take</u> [make] a **trip** to Kyoto next week.

『来週京都へ旅行しましょう。』

trip … 比較的短い旅行 / travel … 比較的長い旅行 → 【No. 763】 / tour [トゥア] … 観光・視察などの旅行 journey [**チャ**〜ニィ] … 比較的長い(陸地の)旅 / voyage [**ヴォ**イエヂ] … 船の旅や宇宙への旅行

 $\mathop{\boxtimes}^{748}$ stranger [ストゥ**れ**インヂャ]

> 見知らぬ人 (その土地に)不案内な人

A stranger spoke to me. 『見知らぬ人が私に話しかけた。』 I'm a stranger here.

『私はここに不案内です[ここはよく知りません]。』

※ strange は 「変な、奇妙な」(→【単語帳 No. 739】)の意味だが、**stranger** にはそのような意味はない。

 $\mathop{\boxtimes}^{749}$ hurry [ハ~りィ]

発音注意

発音注意

急ぐ、急いで行く

急ぎ

活用 : hurried [ハ〜りィド]

- hurried - hurrying

3単現形: hurries [ハ〜りィズ]

I hurried to the library. 『私はその図書館へ急ぎました。』 Hurry up, and you will catch the last train.

『急ぎなさい。そうすればその最終電車に間に合うでしょう。』

**Hurry** up, or you will be late. 『急がないと遅れますよ。』

☆ 命令文, and …「~しなさい。そうすれば…」→【No.5 … and】

☆ 命令文, or …「~しなさい。そうしないと…」→【No. 49 … or】

hurry up 『急ぐ』 ※ ふつう命令文で使う。/ in a hurry 『急いで』

Tom went home in a hurry. 『トムは急いで家に帰りました。』

 $\mathop{\boxtimes}^{750}$ shout [シャウト] | 発音注意

(~を)大声で叫ぶ、大声で言う 叫び声

活用 : shouted [シャウティド]

- shouted - shouting

3単現形:shouts [シャウツ]

☆ 名詞の用法の例文は省略します。

Please don't shout. 『どうか叫ばないでください。』

Tom **shouted** his father's name.

『トムは(彼の)父の名前を叫びました。』

"Help!" Meg shouted. 『「助けて!」 とメグは叫びました。』

Emi shouted for help. 『エミは助けを求めて叫びました。』

※ shout for help「助けを求めて叫ぶ」